



平成21年6月25日 第77号

発行……社会福祉法人
鎌ヶ谷市社会福祉協議会
〒273-0195
鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-6-1
総合福祉保健センター5F
TEL.047-444-2231
FAX.047-446-4545

社会構造の変化などにより地域福祉をとりまく環境も大きく変わり、厚生労働省の「これからの地域福祉のあり方に関する研究会」において「新たな支えあい」として住民の地域福祉活動の価値・重要性が評価されるなど、これまで住民活動を支援してきた社協に対し、さらに大きな期待が寄せられています。

このことを踏まえ、本年度は本会の基幹事業である生活支援、在宅福祉及びボランティア育成事業はもとより、地域ぐるみの支えあい活動をより強化するために、3つの事業を重点事業として推進していきます。

重点事業 その1 地区社協事業を見直し、さらなる推進を図る。

6地区社協事業のさらなる推進を目指し、KT福祉研究所代表の松藤和生氏をコンサルタントに迎え、社協職員、地区社協職員、地区社協を構成する自治会、民生委員児童委員、福祉団体等が協働し、現在までの実績を踏まえたうえで今後の事業の進めかたを検討し、平成22年度より事業展開していきます。

現在までに地区社協役員研修会や講演会を実施しており、今後は地区別の懇談会を開催する予定です。



▲地区社協推進計画説明会



▲鈴木会長あいさつ

重点事業 その2 より身近な地区での「福祉サービス案内」の充実に努める。

地区社協では、相談先のわからない高齢者、障がい者福祉などについての相談窓口のサービス案内を実施しています。内容としては、行政窓口等（福祉関係）の電話番号をお知らせしています。



●このサービスの問い合わせ先（いずれも火～土、9時から16時）

中央地区…☎442-5145	中央東地区…☎442-5144	東部地区…☎442-5141
西部地区…☎389-6061	南部地区…☎442-5143	北部地区…☎442-5142

現在、民生委員児童委員協議会の協力を得て、一人暮らし高齢者世帯を中心に問い合わせ先の入った「福祉サービス案内」のシールを配布しています。

重点事業 その3 災害時にも活用できるネットワーク網の構築を進める。

災害時には、隣近所の協力が大きな力となり、自分の命を守ると言われています。社協は、地域の絆づくりやお互い様の互助活動の再構築を目指しており、そこで生まれた関係を、災害時にも活用できるよう考えています。

また、災害時に社協が開設する、**災害ボランティアセンター**についても、本年度にマニュアルを作成し、不測の事態に備えていきます。



災害救援ボランティア養成講座▶

平成20年度決算・21年度 予算総合資金収支計算書

(単位:円)

(単位:千円)

会計単位及び経理区分	20年度収入額	20年度支出額	差異	21年度予算額
■一般会計	174,816,485	148,964,643	25,851,842	167,719
①法人運営	76,476,670	62,731,859	13,744,811	67,498
②共同募金配分金	9,219,000	9,219,000	0	13,770
③生活福祉資金貸付事務受託	328,520	328,520	0	350
④高齢者、重度障害者資金貸付事務受託	8,200	8,200	0	10
⑤社会福祉センター運営受託	24,170,699	22,128,279	2,042,420	23,981
⑥福祉作業所運営受託	45,894,516	38,518,992	7,375,524	43,934
⑦心配ごと相談	975,521	564,381	411,140	730
⑧ボランティア活動	4,475,697	3,320,102	1,155,595	3,810
⑨地区社協事業	12,792,833	11,937,230	855,603	13,267
⑩在宅サービス事業	474,829	208,080	266,749	369
■公益事業特別会計	1,375,942	753,382	622,560	1,435
①地域福祉センター運営受託	1,375,942	753,382	622,560	1,435
■その他の特別会計	20,718,888	4,416,220	16,302,668	10,274
①福祉資金特別会計	803,533	391,000	412,533	801
②善意銀行特別会計	16,912,711	1,351,816	15,560,895	5,900
③ふれあいサービス事業特別会計	3,002,644	2,673,404	329,240	3,573
総合計	196,911,315	154,134,245	42,777,070	179,428

善意銀行 ありがとうございます

平成21年2月23日～平成21年5月25日
(敬称略・順不同)

名 前	寄付先	金額・品名	名 前	寄付先	金額・品名
永井 春江	社協	3,000	馬込沢自治会	社協	10,000
学生ボランティア「ほっとステーション」	社協	7,000	(有)ウィズ	社協	10,000
鎌ヶ谷市ダンススポーツ協会	社協	43,991	匿名	社協	10,000
匿名	社協	25,000	花まつりをもっと身近にキャンペーン	社協	31,457
鎌ヶ谷市商工会青年部	社協	57,443	少林寺拳法鎌ヶ谷支部父母会	社協	50,000
平成20年度卒業鎌ヶ谷小学校6年1組有志	社協	2,000	NPO法人入れ歯リサイクル協会	社協	17,550
プロムナードダンスサークル	東部地区社協	20,000	鎌ヶ谷市民謡連合会	社協	14,710
明治安田生命労働組合船橋支部	社協	雑巾250枚	鎌ヶ谷市聴覚障害者福祉会・鎌ヶ谷市手話サークルみどりの会	社協	印刷機1台

皆さまの会費が地域福祉を支えています

社会福祉協議会は、社会福祉法（第109条）に基づいた、社会福祉法人格をもった民間団体です。「誰もが安心して暮らせる人に優しいまちづくり」を目指し、地域福祉を推進するために、皆さまから納入いただいた会費が重要な財源となっています。本事業をご理解いただき、ひとりでも多くの方が、会費納入にご協力下さいますよう、よろしくお願いいたします。

■年会費

- 一般会費(1世帯あたり)…………… 500円
(自治会ごとにご協力いただいています)
- 法人会費(1件あたり)…………… 2,000円
(市内の会社・商店などからご協力いただいています)
- 施設・団体会費(1件あたり)…………… 2,000円
(市内の社会福祉法人・福祉団体などからご協力いただいています)

■平成20年度会費納入状況

- 一般会費…………… 10,712,691円(26自治会)
 - 法人会費…………… 413,000円(81件)
 - 施設・団体会費…………… 190,000円(53件)
 - 合 計…………… 11,315,691円
- ※一般会費の約25%は各自治会の福祉事業費として活用されています

平成20年度 事業報告

1 法人運営事業

- ① 会務運営(理事会4回、評議員会2回実施)
- ② 啓発事業(広報紙年3回発行、ホームページによる福祉情報等の提供、「福祉健康フェア」及び「かまがやふれあい冬まつり」支援)
- ③ 福祉関係団体等への育成支援及び調整(福祉団体、福祉NPO、福祉施設等)
- ④ 要援助者への支援(日常生活自立支援事業への対応、災害見舞金及び法外援護費等の交付)
- ⑤ 福祉教育支援(市内小中学校への助成及び福祉講座への講師派遣)
- ⑥ 共同募金運動(赤い羽根、歳末たすけあい)の推進

2 地域福祉事業(地区社会福祉協議会事業)

- ① 広報事業(地区社協広報紙を年2回発行、市の行事に参加して活動報告等)
- ② 交流事業(ふれあいまつり、軽スポーツ大会、バスハイク等)
- ③ 在宅福祉事業(リハビリ教室、介護教室等)
- ④ ボランティア育成事業(地域ボランティア活動支援、地域内小学校との交流会等)

3 ボランティア育成事業(ボランティアセンター事業)

- ① 相談2,274件 斡旋1,051件
- ② ボランティア体験事業 延べ49名参加
- ③ ボランティア養成事業 延べ456名参加

4 在宅福祉事業

- ① ふれあいサービス 延べ活動利用回数1,724回 延べ活動利用時間数3,169時間
- ② 在宅介護者の集い 毎月1回延べ252名参加

5 相談事業

- ① 心配ごと相談 開催日数49日43件
- ② 心の相談 開催日数88日122件

6 資金貸付事業

- ① 総貸付相談件数 91件
 - ・ 福祉資金貸付 15件
 - ・ 生活福祉資金貸付申請受理 9件

7 受託事業

- ① 指定管理者事業
 - ・ 社会福祉センター 開館日293日 年間利用者数33,664件
 - ・ 福祉作業所友和園 定員40名 生活、作業及び就労指導
 - ・ 地域福祉センター 年間利用回数(大会議室285回、団体活動室328回等)
- ② 地域支えあいセンター 市との協働事業により東部、南部地区に設置し、地域福祉の情報提供及び支えあい活動等を実施



災害 ひとくちメモ シリーズ⑦

大地震、その時あなたはど

避難の心得

■避難場所を確認しましょう

大規模地震や豪雨災害に直面した際は、あらかじめ市が指定した避難場所に避難しましょう。日頃から家族や自治会で避難場所や避難経路、避難の手順について確認しましょう。

■避難の際の留意事項

- ・ 避難は徒歩で、持ち物は最小限にし、両手が使えるように荷物は背負うようにしましょう。
- ・ 避難するときはなるべく肌を露出しないように長袖、長ズボンを着用し、ヘルメットや防災頭巾などで頭を保護しましょう。靴は底の厚い、履き慣れたものにしましょう。また、軍手などの手袋も着用しましょう。地震などの際には道路上にガラスの破片や危険な物が散乱しているので、できればくるぶしまで守る安全靴などが望ましいでしょう。
- ・ 避難の際は、家族や隣近所が一緒になって避難しましょう。大雨などの時はマンホールや側溝に注意し、棒やロープなどにつかまりながらゆっくり歩きましょう。
- ・ 津波の危険がある場所にいた場合は、一刻も早く高台や、高いビルなどに避難しましょう。
- ・ 病気の人、高齢者、要援助者の避難には地域の人々で協力しましょう。



■情報に耳を傾けましょう

- ・ テレビやラジオなどで、地震、台風や雨に関する情報を積極的に入手し、状況を把握するようにしましょう。
- ・ 地下空間では地上の様子がわかりにくいいため、気がついたら浸水してドアが開かなくなっていたという状態に陥る可能性があります。台風などの際は気をつけましょう。

2009 ふわあい **一日ボランティア体験** **参加者募集**

小中高生のみなさん、夏休みの一日、盲導犬についてのお話とボランティア体験を通じて、自分にできることを一緒に考えてみましょう。

- 日時 平成21年7月30日(木) 13:30～16:00
- 会場 総合福祉保健センター6階大会議室
- 内容



- ①講演 「盲導犬は目の見えない人の道案内をするすてきな仲間だよ！」
財団法人 日本盲導犬協会
- ②体験コーナー
・車いす体験・手話教室・点字教室



- 対象者 小学1年生～高校3年生 (小学4年生迄は大人の同伴が必要)
- 定員 50名(先着順)

- 申し込み方法 電話またはFAX、郵便ハガキにて7月23日までにお申し込みください。
※FAX・郵便ハガキの場合、①氏名(同伴者がいる場合は同伴者の氏名も記入) ②住所 ③電話番号 ④学校名・学年 を明記してください。

- 申込先/鎌ヶ谷市ボランティアセンター
鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-6-1
電話 047-442-2940 FAX 047-446-4545

ボランティアセンター **通信**

総合福祉保健センター5F
問い合わせ TEL(442)2940
FAX(446)4545

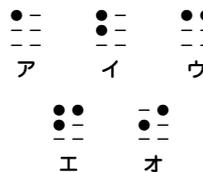
開所時間
月～金曜日:午前9時～午後4時

ボランティアセンター登録状況

(平成21年3月31日現在)
・団体(48団体) …… 1,360人
・個人ボランティア …… 151人
・合計 …… 1,511人

みんなで楽しく体験しよう!

●点字
点字はタテ3点・ヨコ2点の6つの点の組み合わせからなる音標文字です。



●手話
手話は、手や指や顔の表情を使って耳の不自由な人と対話をするための言葉です。



印刷機の寄贈がありました

鎌ヶ谷市聴覚障がい者福祉会および鎌ヶ谷市手話サークル「みどりの会」では、「聴覚障がい者がいつでも自由に話せる場所を作ろう」という目的で、「ろうあセンター基金」を立ち上げ、市民夏まつりフリーパザールなどで皆様からご協力をいただいております。昨年度でこの基金を終了するにあたり、両団体で積立金の用途を話し合った結果、私たちの活動で最も利用する印刷機を寄贈させていただくことに決定しました。基金へのご協力ありがとうございました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。



鎌ヶ谷市聴覚障がい者福祉会・鎌ヶ谷市手話サークル「みどりの会」
※寄贈された印刷機は、社会福祉協議会印刷室に設置し、福祉関係団体への貸し出しを行っています。どうぞご活用ください。

集 めています。
ボランティアグループや施設で使用します。

- ウエス用布(Tシャツ・ゆかた・タオル等 木綿の布)
- 使用済み切手

■東葛飾地区身体障がい者スポーツ大会

内容 大会の運営のお手伝い
日時 平成21年9月19日(土)
場所 総合福祉保健センター6階 大会議室
時間 9:30～15:00

※詳細についてはボランティアセンターまでお問い合わせください

